

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
田辺中央病院 新館

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版  
■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		竣工段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>配慮項目</b>										
<b>Q 建築物の環境品質</b>										<b>2.7</b>
<b>Q1 室内環境</b>							0.40	-	-	<b>2.8</b>
<b>1 音環境</b>						<b>2.3</b>	0.15	<b>2.4</b>	1.00	<b>2.3</b>
1.1 室内騒音レベル						<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40	
1.2 遮音						<b>2.4</b>	0.40	<b>2.7</b>	0.40	
1 開口部遮音性能						<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.30	
2 界壁遮音性能						<b>2.0</b>	0.60	<b>2.0</b>	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	0.20	
1.3 吸音						<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20	
<b>2 温熱環境</b>						<b>2.6</b>	0.35	<b>2.3</b>	1.00	<b>2.5</b>
2.1 室温制御						<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50	
1 室温						<b>3.0</b>	0.38	<b>3.0</b>	0.57	
2 外皮性能						<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.43	
3 ゾーン別制御性						<b>3.0</b>	0.38	-	-	
2.2 湿度制御						<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20	
2.3 空調方式						<b>3.0</b>	0.30	<b>2.0</b>	0.30	
<b>3 光・視環境</b>						<b>3.1</b>	0.25	<b>3.8</b>	1.00	<b>3.2</b>
3.1 昼光利用						<b>3.6</b>	0.30	<b>4.2</b>	0.30	
1 昼光率		4階待合室-1 2.05%、4階待合室-2 5.3%、診察室2.16%、病室				<b>4.0</b>	0.60	<b>5.0</b>	0.60	
2 方位別開口						-	-	-	-	
3 昼光利用設備						<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40	
3.2 グレア対策						<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30	
1 昼光制御						<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	1.00	
3.3 照度						<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15	
3.4 照明制御		各ベッドの壁付け照明を各自で制御可能				<b>3.0</b>	0.25	<b>5.0</b>	0.25	
<b>4 空気質環境</b>						<b>3.1</b>	0.25	<b>2.5</b>	1.00	<b>3.0</b>
4.1 発生源対策						<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.63	
1 化学汚染物質						<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	1.00	
4.2 換気						<b>2.0</b>	0.30	<b>1.6</b>	0.38	
1 換気量						<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.33	
2 自然換気性能						<b>3.0</b>	-	<b>1.0</b>	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						<b>1.0</b>	0.50	<b>1.0</b>	0.33	
4.3 運用管理						<b>5.0</b>	0.20	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視						<b>3.0</b>	-	-	-	
2 喫煙の制御		医療施設なので、敷地内全面禁煙				<b>5.0</b>	1.00	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>						-	0.30	-	-	<b>3.0</b>
<b>1 機能性</b>						<b>2.8</b>	0.40	<b>3.0</b>	1.00	<b>2.8</b>
1.1 機能性・使いやすさ						<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.60	
1 広さ・収納性						-	-	<b>3.0</b>	1.00	
2 高度情報通信設備対応						<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	
3 バリアフリー計画						<b>3.0</b>	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.40	
1 広さ感・景観						<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	0.50	
2 リフレッシュスペース						<b>3.0</b>	-	-	-	
3 内装計画						<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	0.50	
1.3 維持管理						<b>2.5</b>	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計						<b>3.0</b>	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保						<b>2.0</b>	0.50	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>						<b>2.9</b>	0.30	-	-	<b>2.9</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振						<b>3.0</b>	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						<b>3.0</b>	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						<b>3.0</b>	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						<b>3.5</b>	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						<b>3.0</b>	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						<b>3.0</b>	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						<b>3.0</b>	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		屋外排煙ダクトにSUS、高温系排気ダクトにVPや塩ビライニング製を				<b>4.0</b>	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水、給湯、雑排水、汚水排水にBを使用				<b>5.0</b>	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						<b>3.0</b>	0.20	-	-	
2.4 信頼性						<b>2.2</b>	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						<b>3.0</b>	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						<b>2.0</b>	0.20	-	-	
3 電気設備						<b>3.0</b>	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						<b>1.0</b>	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						<b>2.0</b>	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.1	0.30	3.3	1.00	3.1
3.1 空間のゆとり			3.6	0.30	3.6	0.50	
1	階高のゆとり	最低3.7m	4.0	0.60	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30		-	2.4
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性							3.3
LR1 エネルギー				0.40			3.7
1	建物外皮の熱負荷抑制	省エネ適判計算書による	5.0	0.20		-	5.0
2	自然エネルギー利用		3.0	0.10		-	3.0
3	設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 0.76	3.8	0.50		-	3.8
4 効率的運用			2.5	0.20		-	2.5
集合住宅以外の評価			2.5	1.00		-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		2.0	0.50		-	
集合住宅の評価							
4.1	モニタリング		3.0	-		-	
4.2	運用管理体制		3.0	-		-	
LR2 資源・マテリアル				0.30			3.1
1 水資源保護			3.4	0.20		-	3.4
1.1	節水	自動水栓、節水型便器の採用	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.9	0.60		-	2.9
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	屋外用品(エクステリア):7階屋上 再生木デッキ	3.0	0.20		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20		-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)	ノンフロンタイプの採用	5.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境				0.30			3.0
1 地球温暖化への配慮		省エネ適判計算書による	3.7	0.33		-	3.7
2 地域環境への配慮			2.3	0.33		-	2.3
2.1 大気汚染防止			-	-		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.67		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.33		-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33		-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	1.00		-	
2	振動		-	-		-	
3	悪臭		-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制		3.0	-		-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70		-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	